



6月16日、6月議会下市このみ質問から 採点集計表 大部分が黒塗り

5月26日、「旧後楽館中・高（天神校舎）跡地活用事業」で、山陽放送が提案した社屋を移転し、約200人のホール、カフェ、レストランを備える事業が、12億円で優先交渉権を得ました。企画提案に参加したのは、他には、14億8000万円で美術館整備を核とした石川財団、ストライプインターナショナルなどの企業グループと、10億円で浅野産業の本社事務所と交流施設、観光バスの発着場・駐車場などを設けるものでした。

提案価格点数の劣勢を挽回した理由は？

6月6日、議会に採点集計表が提示、提案価格と合計点数のみが公表され、その他部分は黒塗りでした。山陽放送は価格168点合計872点、石川財団は価格210点全体827点は分かります。黒塗りの理由は、応募者の財務状況が公開されることで、企業活動に支障を及ぼす恐れがあるためとのことです。

市民の関心が強い提案した事業内容に対する採点は黒塗りでは、何を持って、価格の不利を逆転したのかまったくもって不明です。

3月31日付け文書で「旧後楽館中・高（天神校舎）跡地活用事業」は市民の関心が極めて高く、事業者選定の際の透明性及び公平性の確保のため各社の提案事業の概要をお差し支えない範囲で公表しながら進めてまいりたいと、述べてます。

この文書で書かれている提出された各社の提案事業概要は、どう扱ったか尋ねると、優先交渉権者決定の時に資料として示したという答弁でした。それは文書で言うところの公表しながら進めていくこととは違いませんか。

使用済みスプレー缶・カセットボンベ 穴あけなし収集にできないか？

国民生活センターでは「車の塗料スプレー缶を穴を開けたら、穴を開けた部分から塗料が噴き出し、顔にかかった。目に入って痛くなり開眼できず、救急車で搬送された。」
「ガスコンロに火がついているそばで、消臭スプレーの使い終わったものに穴を開けたところ、内容物に引火して右手や前胸部にやけどを負った。」など、穴あけ時に起こる事故はあとを絶たちません。2015年にはガスへの引火が原因とみられる死亡事故までもが起きています。

国の要望をうけ他の自治体の動きは？

環境省は、平成27年6月に「市民が穴あけをしない方向が望ましい」と各自治体に通知しています。大阪市は平成29年4月から、札幌市は7月から、穴あけをしないことにしています。現在政令市の中で穴あけをしているのは、仙台市、相模原市、神戸市と岡山市です。今議会で、環境局長は「実施都市の対応方法も参考にしながら、安全な出し方、回収方法や処理費用等について検討をしているところ」との答弁でした。市民が事故に巻き込まれる前に、早急な対応を望みます。



下市このみ事務所からのお知らせ

▼6/8(木)～26(月) 6月定例市議会

▼6/27(火) 映画上映会
14:00～ 下市このみ事務所

▼7/11(火) 市民ネット市政報告会
18:30～20:30 操南公民館